

事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘育成活動助成】

| | | | |
|--------------------------|--|--|---|
| 助成事業細目 | タレント発掘・一貫指導育成事業 | | |
| 助成事業者名 | 公益財団法人日本卓球協会 | | |
| 事業名 | JOCエリートアカデミー選手及び有望選手 国際競争力育成事業 | | |
| 事業実施期間 | 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 30 日 (延べ 364 日間) | | |
| 事業の成果 | JOCエリートアカデミー生を中心に全国の有望選手を海外に派遣し、諸外国との合同合宿や国際大会に出場させることで、国際競争力が向上し日本のレベルを大きく上げることに成功したと思う。世界のアンダー18歳では男女とも日本人(男子張本智和、女子伊藤美誠)が第1位で、特に女子は1位~4位まで日本人が独占しこの事業の成果が数字として表れている。日本卓球協会としては、この事業を継続することが若手育成に一番効果的だと分析している。今年度は臨時コーチ・練習相手の事業も含むと38事業を消化し、若手育成の中心的事業となっている。 | | |
| 事業に対する評価 | JOCエリートアカデミー及び有望選手を海外に派遣することにより、各人が国際人として成長でき、語学力や生活力を身に付けることにより人間力の成長に結びついてくると考えている。また、卓球を行う国や地域が226あることから多くの国や人種と様々なお付き合いが生まれ、スポーツを通して国際貢献にも寄与していると考えられる。競技面においては、上記「事業の成果」でも紹介しているように日本の若手が世界トップクラスに成長している。この事業を継続する事により、中国を倒してオリンピックで金メダルを獲得の基盤作りになると確信している。 | | |
| 事業計画及び実績 | | 年度当初計画 | 実績 |
| | 述べ参加人数 | 249 人 | 350 人 |
| | 活動日数 | 254 日 | 364 日 |
| | 述べ指導者数 | 98 人 | 117 人 |
| | 各年代代表選手輩出数(累計) | 15 人 | 20 人 |
| 事業の実施方法 | 第三者への委任(事務委任等)の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | ※第三者への委任(事務委任等)が「有」の場合、以下の記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること |
| | 委任先の組織名称 | | |
| | 委任の内容 | | |
| 実施した事業の内容 | | <ol style="list-style-type: none"> シニアのワールドツアー大会及びジュニアのジュニアサーキット大会への派遣をする中で、2日ほど前には現地に入り、時差調整も含めて地元選手との合同練習を開催した。 JOCエリートアカデミーにおいて中国合宿を実施。 JOCエリートアカデミー及び有望選手に対して大学生の練習相手及び臨時コーチを招へい。 JOCエリートアカデミー生の数名をヨーロッパプロリーグに挑戦させた。 | |
| 情報公開 | 助成金の使途に関する情報の公開並びに事業の実施状況及び実施結果並びに | <input type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由: () | |
| | 公表した内容(複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: () | |
| 事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか | | <input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった | 実施方法 |
| 備考 | | | |

事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘育成活動助成】

| | | | |
|--------------------------|---|--|-------|
| 助成事業細目 | タレント発掘・一貫指導育成事業 | | |
| 助成事業者名 | 公益財団法人 日本卓球協会 | | |
| 事業名 | 全国ブロック別研修合宿 | | |
| 事業実施期間 | 平成 28 年 10 月 14 日 ~ 平成 28 年 12 月 16 日 (延べ 12 日間) | | |
| 事業の成果 | この研修合宿の特色は選手と指導者がセットで参加するところにある。選手と指導者の意識改革を促すことが、将来的にナショナルクラスに成長する選手の絶対数を増やす事に繋がっていくと考えている。近年卓球会では偏ることなく、全国から優秀なタレントが出現してきている。その選手の指導者は過去にこの研修合宿にさんかしているケースが増えてきている。本事業の大きな成果と考える。 | | |
| 事業に対する評価 | 概ね計画通り実施することができた。単に技術講習を目的とした合宿ではなく、心技体を併せ持った選手の発掘・育成をポイントに揚げている。参加者からも大きな経験となったと言う声が多数寄せられている。また、技術練習においては、ナショナルステージをスタンダードにした講習を行い、選手並びに指導者に対して大きな刺激を与えられた。 | | |
| 事業計画及び実績 | | 年度当初計画 | 実績 |
| | 述べ参加人数 | 255 人 | 237 人 |
| | 活動日数 | 12 日 | 12 日 |
| | 述べ指導者数 | 28 人 | 25 人 |
| | 各年代代表選手輩出数(累計) | 3 人 | 0 人 |
| 事業の実施方法 | 第三者への委任(事務委任等)の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※第三者への委任(事務委任等)が「有」の場合、以下の記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること | |
| | 委任先の組織名称 | | |
| | 委任の内容 | | |
| 実施した事業の内容 | <p>〔事業の詳細〕 Aブロック研修合宿「鹿児島県 松元平野岡体育館」12月2日～4日 参加者67名 Bブロック研修合宿「富山県 砺波青少年自然の家」10月21日～23日 参加者62名 Cブロック研修合宿「福島県 郡山ユラックス熱海」10月14日～16日 参加者52名 Dブロック研修合宿「東京味の素ナショナルトレーニングセンター」12月16日～18日 参加者56名</p> <p>主な研修内容 技術指導基本練習・最新のプレーテクニック ジュニア期のフィジカルトレーニング コンディショニング指導・・・メンタル他 栄養指導・・・日常の食事、大会期間中の食事、水分摂取等 世界の戦術・技術(映像による指導) 指導者の役割と指導方法 フィジカルテストの実施</p> | | |
| 情報公開 | 情報の公開方法(複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由: () | |
| | 公表した内容(複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開) <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由: () | |
| 事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか | <input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった | 実施方法 | アンケート |
| 備考 | | | |

事業報告書

【将来性を有する競技者の発掘育成活動助成】

| | | | |
|--------------------------|--|--|---|
| 助成事業細目 | タレント発掘・一貫指導育成事業 | | |
| 助成事業者名 | 公益財団法人 日本卓球協会 | | |
| 事業名 | 男子・女子ホープス・カブ選手+指導者研修合宿 | | |
| 事業実施期間 | 平成 29 年 2 月 24 日 ~ 平成 29 年 3 月 5 日 (延べ 6 日間) | | |
| 事業の成果 | この研修合宿の特色は選手と指導者がセットで参加するところにある。選手と指導者の意識改革を促すことが、将来的にナショナルクラスに成長する選手の絶対数を増やすことに繋がっていきと考えている。この研修合宿は、10才~12才までの選手を参加させ、早期教育の側面を併せ持っている。技術的には世界に通じる初期設定。その他メンタル・栄養等に関する意識付け。また今回はスポーツ整形のドクターに協力を得て、選手のエコー検査を実施、スポーツ障害の検診を取り入れた。また、JOCプログラムを男女講習に取り入れた。 | | |
| 事業に対する評価 | 概ね計画通りに実施することができた。 今回も昨年に引き続きドクターの検診（エコー診察、検診、問診）をプログラムに始めて取り入れた。結果は大きな障害や怪我の報告はなかった。参加指導者からも「ホッしました。」との声が寄せられた。特に近年、幼少期からプレーを始める傾向が高く、比例してスポーツ障害の発生が増えてきていることが医科学委員会からも寄せられている。講義では、指導者に対する障害への認識を中心に有意義な内容で行われた。その他、トレーニング講習（実践）やJOCプログラムについて好評であった。 | | |
| 事業計画及び実績 | | 年度当初計画 | 実績 |
| | 述べ参加人数 | 255 人 | 166 人 |
| | 活動日数 | 6 日 | 6 日 |
| | 述べ指導者数 | 28 人 | 97 人 |
| | 各年代代表選手輩出数（累計） | 20 人 | 6 人 |
| 事業の実施方法 | 第三者への委任（事務委任等）の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | ※第三者への委任（事務委任等）が「有」の場合、以下の記入するとともに、委任先の収支決算書を提出すること |
| | 委任先の組織名称 | | |
| | 委任の内容 | | |
| 実施した事業の内容 | <p>〔事業の詳細〕 実施場所日時：女子：敦賀市総合運動公園 男子：エスフォルタアリーナ八王子 平成29年2/24~2/26（女子） 選手36名、指導者50名 平成29年3/3~3/5（男子） 選手33名、指導者47名 「総計」166名 研修内容： ①技術指導、基本技術の徹底プレースタイルを指導 ②フィジカルトレーニング…発育に合わせた指導 ③コンディショニング指導…栄養指導・メンタル指導 ④コーチングの指導…指導者に対してアドバイス ⑤体カテスト ⑥スポーツ整形診断…エコー検査、問診、検診 ⑦JOCプログラム…指導者向け子育て論</p> | | |
| 情報公開 | 事業の助成金の使途に関する情報の公開（複数選択可） | 情報の公開方法（複数選択可） | <input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 特段の情報の公開は行っていない 理由：（ ） |
| | | 公表した内容（複数選択可） | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） <input type="checkbox"/> 助成金の交付を受けた旨は公開できない 理由：（ ） |
| 事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか | <input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった | 実施方法 | アンケート |
| 備考 | | | |